
恋愛事情

伊川秋樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛事情

【Nコード】

N5831T

【作者名】

伊川秋樹

【あらすじ】

恋愛が解らない少年とその回りでの話です。

解らない

俺は恋愛というものが解らない。

どういう物かは分かっているとは思う。

恋愛物の小説とか、そういう物は大好きだしあんな恋ってやつもしてみたい。

ちょっとした希望や夢とまでは言わないがそんな感じだ。

けど、俺は自分がどんな感情になったらそれが恋なのか自分で解らない。いや、解らなくなった。

何故かと聞かれたら中二の時に色々あったんだ。としか今は言えない。

いつか誰かに話さなければならぬ時がくるんだろうか。

紹介？

「よう！朝っぱらから元気無いな。」

よう！という掛け声とともに背中を叩いてきたこいつの名前は馬鹿うまし阿保かあほだ。

馬鹿「おい！なんて紹介してるんだ。俺の名前はそんなんじゃないねえ！」

「なぜ、気づかれた！」

馬鹿「なんとなくだ。」

こいつは馬鹿なくせに微妙なところで勘が良い。
どれだけ馬鹿かというバカがテストをして戦争するラノベでは確実にFクラスだろう。

馬鹿「また馬鹿にされたような気がするけど、それは置いて、そろそろ名前はちゃんとしてくれ。」

「何も言わないから気に入ったのかと思ってた。」

馬鹿「こんなんじゃ喜ぶやつがいるか！」

まあいないだろうな。

なぜ、名前について分かるのか気になるが仕方ない。

「なら自分で名乗れば良いだろう？」

馬鹿「ああ、そうか。」

今気づいたか、だから馬鹿なんだな。

馬鹿「じゃあ、俺の名前は「吉 明久」だ。って違う！」

「そつだな、あっちのバカに失礼だったな。悪い悪い。」

馬鹿「それはどういう意味だよ！」

「そのまんまのいみだ。ところで自己紹介しなくて良いのか？」

馬鹿「そつだったな、俺は「次回お楽しみに！」だ。ってなぜ!? お前の名前も出てないのに。」

まあ馬鹿で終わらせてみたいだけだが。

「ひつぱった方が面白いだろ。それだよ。」

馬鹿「それなら仕方ないか？」

扱いやすい奴だ。

扱いやすすぎて将来が心配だが。

「強く生きるよ。」

馬鹿「? おう！」

分からないのに元気な返事だな。
本気で心配だ。

「まあ、次回のご期待」

馬鹿「ホントに終るのか…。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5831t/>

恋愛事情

2011年10月9日04時43分発行